

1 教育目標及び子ども像・教職員像・学校像

教育目標

豊かな人間性の育成を目指し、互いの人権を尊重しあい、
若き日に心を磨き・若き日に体を鍛え・若き日に知識を広め・若き日に友と交わり 未来の糧を創ろう！

目指す子ども像

- 何事も全力で取り組める生徒
- すべての活動に喜びを感じられる生徒
- 自分を大切にし、仲間を思いやれる生徒
- 自分に誇りと自信をもっている生徒

目指す教職員像

- 何事も全力で取り組める教職員
- すべての活動に喜びを感じられる教職員
- どんな時も生徒のことを第一に考えて行動できる教職員
- 互いの立場や仕事を理解しあい、共通の目標に向かってチームになれる教職員

目指す学校像

- 生徒と教職員ともに常に笑顔と活力が溢れる学校
- 生徒の学びと育ちを教職員がしっかりと支える学校
- 生徒と教職員との信頼関係に基づく教育活動を常に保護者や地域が応援する学校

2 学校経営方針

◎学級づくり・・・温かな学級、励まし合える仲間のいる学級をつくる。

一人ひとりの生徒に「居場所」のある居心地のよい温かな学級を作る。互いに認められ個々の自己有用感が高い学級を作る。

- 生徒が一人ひとりの良さを認め合う
- 何事にも一生懸命に取り組み、互いに高め合う

- 自分で判断し、主体的意欲的に行行動できる
- 感謝の気持ちをもち、他者への思いやりがある

◎学力向上・・・生徒主体の授業、分かる授業をつくり、学力を向上させる。

研究主題「学ぶことの喜びやおもしろさ楽しさを感じられる授業づくり」

今年度も全教職員で主体的に本課題を探求する。そのために「話し合い活動・学び合い活動」など、生徒のアウトプットの場面を多くした授業づくりに積極的に取り組み、アクティブラーニングによる授業づくりを実践する。また、学習意欲の向上と家庭学習の習慣をつけさせるための取組を一層研究し推進する。

- 自らの授業を顧み、率先して改善する
- 家庭学習と学校での授業を繋いだ授業づくりに工夫する
- 生徒が、自ら課題を見つけ自ら解決する授業づくりを工夫する

◎規範意識・・・人のことを思って、ルールやマナーを大切にする生徒を育てる。

「外からの指導」(生徒指導)と「内からの指導」(道徳等)によって、自らを律しつつ自己を高めようとする生徒を育てる。

- 「生徒十訓」の定着を推進する
- 道徳教育の研究を更に推進し、豊かな人間性を身に着けさせる

◎教師集団・・・意欲をもち、切磋琢磨できる教師集団になる。

「わが向島中学校」という意識を一つに結び、教職員の力を結集して充実した学校を創造する。

- 全教職員が、互いの良さを認め合う
- 「チーム向島」で学校づくりに取り組む

- 日常のコミュニケーションを大切にした職場環境づくりに努める

3 学校教育の計画

(1)「確かな学力」の育成に向けて

重点目標

「授業の工夫と改善」および「家庭学習の定着」

具体的な取組

- 授業の中に、話し合い・教えあい・学びあいなどのグループ学習を積極的に取り入れる。
- 生徒のアウトプットの場面を増やすような授業を工夫する。
- 年間35時間の「道徳の授業」を通じて、発言の喜びや人の意見を聞く喜びを感じさせる。
- 静かな学習への入りを促し、学習習慣を徹底させるため、毎日10分間の朝読書を行う。
- 英語の学力向上を目指して、MUKATAN（向島単語検定）の取組を継続する。
毎日英単語を覚えてくる 週に1回まとめテストを行う 検定制度を設け上級を目指させる
- 自学自習ノートの取組を継続し、家庭学習の習慣を身に着けさせる。
自学自習ノート（向島特製）を配布する。5教科より自学自習の学習例を提示する。終学活で計画させる。
家庭で継続してやらせる。朝学活で回収し学年でチェックして終学活で返却する。未提出者には提出を促す取組を学年独自で考える。自学自習が難しい生徒には課題を与える。優秀ノートを紹介する。保護者にも協力を求めていく。

(2)「豊かな心」の育成に向けて

重点目標

「道徳教育の充実」および「人権教育の充実」

具体的な取組

- ・道徳教育の充実に関して
 - 道徳の時間を35時間確保するとともに、道徳の時間を中心とした道徳教育を充実させる。
 - 道徳の授業形態（学年道徳・全校道徳・ローテーション道徳など）をさまざまに研究する。
 - 31年度道徳の教科科に向けて指導と評価の一体化を図っていく。
 - 生徒十訓を基軸とした規範意識を醸成するとともに、学級づくりと連動させた仲間づくりに力を入れる。
- ・人権教育の充実に関して
 - 人権教育のあり方や人権学習、再構築する。すなわち、国際理解教育と外国人教育の同異性について、本校としての解釈を明確にして取り組む。また、同和教育と外国人教育の歴史と現状をどのように関連させ、どの程度まで考えさせることが可能か考え直す。
 - いじめについて深く学習するとともに、いじめの起こらない集団を作ることに積極的に取り組む。日頃の授業、部活動、学校行事等で、自分や仲間のいいところを積極的に見つけようと努力することの大切さを理解させる取組を工夫する。

(3)「健やかな体」の育成に向けて

重点目標

「基本的生活習慣の見直し」および「部活動の充実」

具体的な取組

- ・基本的生活習慣の見直し
 - 「早寝・早起き・朝ごはん」の重要性を生徒及び家庭に向けて説き続ける。
 - 遅刻者に対して徹底した指導を行う。（把握の仕方と対処の方法を徹底する。）
 - 保護者に対して、懇談会や保護者会で「食」と「生活習慣」の重要性について啓発を進める。
- ・部活動の充実
 - 部活動の目的は「人格形成」であることを生徒と教職員で確認する。
 - 練習には必ず顧問がついて指導する。
 - 部活動を通じて心身を鍛え、ストレスを解消するなど、心身の健康を図る。